

石井修道先生 略歴及び業績

略歴

- 一九四三年 八月十日 福岡県鞍手郡若宮町（現宮若市）西照山円福寺の長男として生まれる
- 一九六二年 三月 福岡県立鞍手高等学校卒業
- 一九六六年 三月 駒澤大学仏教学部禅学科卒業
- 一九七一年 三月 駒澤大学大学院人文科学研究科仏教学専攻博士後期課程満期退学
- 一九七一年 四月 駒澤大学仏教学部助手として就職
- 一九七四年 四月 駒澤大学仏教学部講師に昇任
- 一九七八年 四月 駒澤大学仏教学部助教授に昇任
- 一九七九年 九月 日本印度学仏教学会賞受賞
- 一九八四年 四月 駒澤大学仏教学部教授に昇任
- 一九八八年十二月十五日『宋代禅宗史の研究―中国曹洞宗と道元禅―』で文学博士（駒澤大学）の学位取得
- 一九九三年 四月 駒澤大学大学院人文科学第一研究科委員長（二〇〇三年三月まで）
- 二〇〇六年 四月 駒澤大学仏教学部学部長（二〇〇九年三月まで）
- 四月 駒澤大学禅学研究所所長（二〇一四年三月まで）
- 二〇一四年 三月 駒澤大学定年退職
- 二〇一四年 六月 駒澤大学名誉教授
- 二〇一一年十二月 財団法人松ヶ岡文庫理事（公益移行まで）
- 二〇一三年 六月 公益財団法人松ヶ岡文庫理事に就任し現在に至る

二〇一二年 四月 公益財団法人禅文化研究所評議員に就任し現在に至る

その間、駒沢学園、立正大学、ハワイ大学、東洋大学、明治大学、東北大学、東京大学、早稲田大学、大正大学の非常勤講師

業績一覧

著書（一部共著を含む）

一九七九年 三月 『禅宗の歴史―中国篇・禅宗の歴史―日本編』（共著）『宗教学Ⅱ』所収、更生社

一九八四年五月・一九八五年一月・一九八六年十一月

『宏智録上・中・下』

一九八七年一〇月 『宋代禅宗史の研究―中国曹洞宗と道元禅―』

一九八八年 三月 『中国禅宗史話―真字「正法眼蔵」に学ぶ―』

一九八九年 九月 『正法眼蔵』

一九九一年 八月 『道元禅の成立史的研究』

一九九二年一月 『禅語録 大乘仏典中国・日本篇12』

一九九四年一〇月 『最近の道元禅師研究に想う』

二〇〇二年三月・二〇〇三年三月・一〇月

『禅語録傍訳全書「六」・「十一」・「十二」 従容録・従容録Ⅱ・従容録Ⅲ』

四季社

二〇〇七年 二月 『道元禅師 正法眼蔵行持に学ぶ』

一二月 『真字正法眼蔵』

禅文化研究所

二〇一〇年一二月 『祖録に親しむ』

（共著）『〈原文対照現代語訳〉道元禅師全集「第十四卷」語録』所収、春秋社

曹洞宗秋田県宗務所・禅センター編

二〇一一年一〇月・二〇一二年四月

『正法眼蔵8・9』

〔原文対照現代語訳〕道元禪師全集〔第八卷〕・〔第九卷〕正法眼蔵』所収、春秋社

二〇一三年 一月

『石頭―自己完結を拒否しつづけた禪者』

臨川書店

論文

一九六七年 三月

「無情仏性説の禪への導入をめぐる―禪浄交渉史の一考察―」

二月

「無情説法の成立過程―禪浄交渉の一断面―」

『駒澤大学大学院仏教学研究会年報』第一号

一九六八年 三月

「中国禅宗史研究の動向」

『印度学仏教学研究』第一六卷第一号

一九六九年 三月

「『宗鏡録』におよぼした澄観の著作の影響について―永明延寿の教禪一致説成立過程の疑問―」

『駒澤大学大学院仏教学研究会年報』第二号

三月

「永明延寿伝―法眼宗三祖と蓮社七祖―」

『印度学仏教学研究』第一七卷第二号

一月

「宋代禅宗史研究」

『駒澤大学大学院仏教学研究会年報』第三号

一九七〇年 三月

「真字『正法眼蔵』の歴史的 성격」

『曹洞宗研究員研究紀要』第一号

三月

「景德伝燈録」の歴史的 성격(上)」

『宗学研究』第一二号

三月

「大慧宗杲とその弟子たち(一)―『五燈会元』の成立過程と関連して―」

『駒澤大学大学院仏教学研究会年報』第四号

一月

「宋代禅宗史研究(二)」

『印度学仏教学研究』第一八卷第二号

一九七一年 三月

「景德伝燈録」の問と答(一)―如何是について―」

『曹洞宗研究員研究生研究紀要』第二号

三月

「大慧宗杲とその弟子たち(二)―『宗門聯燈会要』の歴史的 성격―」

『駒澤大学仏教学部論集』第一号

三月

「印度学仏教学研究』第一九卷第二号

『印度学仏教学研究』第一九卷第二号

- 三月 「景德伝燈録」の問と答」
 「宗教学研究」第二〇六号
- 六月 「景德伝燈録」の歴史的性格(下)」
 「駒澤大学大学院仏教学研究会年報」第五号
- 一〇月 「真字『正法眼蔵』の基づく資料について」
 「曹洞宗研究員研究生研究紀要」第三号
- 一二月 「景德傳燈録」の問と答(二)——如何の問内容——
 「駒澤大学仏教学部論集」第二号
- 一九七二年 三月 「宏智録の歴史的性格(上)——宏智頌古拈古を中心として——」
 「宗学研究」第一四号
- 三月 「大慧宗杲とその弟子たち(三)——大慧『正法眼蔵』と『聯燈会要』——」
 「印度学仏教学研究」第二〇卷第二号
- 三月 「宏智広録考」
 「駒澤大学仏教学部研究紀要」第三〇号
- 三月 「景德伝燈録」の問と答(二)」
 「宗教学研究」第二一〇号
- 四月 「『攻媿集』にみられる禪宗資料——投子義青の法系を中心として——」
 「東方宗教」第三九号
- 九月 「雪竇智鑑伝」
 「曹洞宗研究員研究生研究紀要」第四号
- 一九七三年 二月 「芙蓉道楷と丹霞子淳」
 「駒澤大学仏教学部論集」第三号
- 三月 「宏智録の歴史的性格(中)——道元和尚広録の引用をめぐる——」
 「宗学研究」第一五号
- 三月 「大慧宗杲とその弟子たち(四)——大慧の著作について——」
 「印度学仏教学研究」第二一巻第二号
- 三月 「大慧語録の基礎的研究(上)」
 「駒澤大学仏教学部研究紀要」第三一号
- 三月 「芙蓉道楷の袈裟の意義について」
 「宗教研究」第二一四号
- 九月 「芙蓉道楷とその弟子たち」
 「曹洞宗研究員研究生研究紀要」第五号
- 一二月 「宗門統要集」について(上)」
 「駒澤大学仏教学部論集」第四号
- 一二月 「大慧宗杲とその弟子たち(五)——著意と忘懐という語をめぐる——」
 「印度学仏教学研究」第二二巻第一号

- 一九七四年 三月
 「大慧語録の基礎的研究(中)——『正法眼蔵』の出典と『聯燈会要』との関係——」
 『駒澤大学仏教学部研究紀要』第三二二号
- 三月
 「大陽警玄の十八般妙語について」
 『宗教研究』第二一八号
- 一月
 「仏照徳光と日本達磨宗(上)——金沢文庫保管『成等正覚論』をてがかりとして——」
 『金沢文庫研究』第二二二二号
- 一月
 「仏照徳光と日本達磨宗(下)——金沢文庫保管『成等正覚論』をてがかりとして——」
 『金沢文庫研究』第二二三三号
- 一月
 「『宗門統要集』について(下)——統要と会要の著語の比較と出典——」
 『駒澤大学仏教学部論集』第五号
- 二月
 「大慧宗杲とその弟子たち(六)——真歇清了との関係をめぐって——」
 『印度学仏教学研究』第二三三卷第一号
- 一九七五年 三月
 「大慧語録の基礎的研究(下)——大慧伝研究の再検討——」
 『駒澤大学仏教学部研究紀要』第三三三号
- 三月
 「金沢文庫所蔵の日本達磨宗の文献について」
 『宗教研究』第二二二二号
- 一月
 「明末清初の天童山と密雲円悟」
 『駒澤大学仏教学部論集』第六号
- 一九七六年 三月
 「大慧宗杲とその弟子たち(七)——真浄克文と大慧宗杲——」
 『印度学仏教学研究』第二四卷第二号
- 三月
 「真浄克文の人と思想」
 『駒澤大学仏教学部研究紀要』第三四号
- 三月
 「黄龍派の盛衰」
 『宗教研究』第二二二六号
- 一月
 「洞山と洞山良价」
 『駒澤大学仏教学部論集』第七号
- 一月
 「〔書評〕鈴木哲雄編『中国禪宗人名索引——附景德伝燈録人名索引——』」
 『駒澤大学仏教学部論集』第七号
- 二月
 「丹霞子淳の宗風——頌古を中心として——」
 『宗教研究』第二三〇号
- 二月
 「大慧宗杲とその弟子たち(八)——真歇清了との関係をめぐって(承前)——」
 『宗教研究』第二三〇号

- して―」
- 三月 「伝法偈の成立の背景に関する一考察」
 「大慧普覚禪師年譜の研究（中）」
 「伝法偈」
- 一月 「恵昕本『六祖壇経』の研究―定本の試作と敦煌本との対照―」
 「中国禪宗の発生地と発展地を巡りて」（訪中記）所収
 「宋代の禪―中国の禪Ⅱ」
- 一月 「雲居山と雲居道膺―中国初期曹洞宗の集団の動向を考慮して―」
- 一九八一年二・三月 「第二次駒澤大学中国仏蹟參觀団に参加して（上）（下）」
 「大慧宗杲の看話禪の対機観」
 「契嵩本『六祖壇経』の一臆説」
 「頓悟漸修について―『裴休拾遺問』を中心として―」
 「宋代禪宗史上にみられる六祖慧能像」
- 六月 「五家七宗の成立とその展開」
- 一月 「真福寺文庫所蔵の『裴休拾遺問』の翻刻」
 「『光明蔵三昧』の引用典籍について」
 「靈隠寺歴住世代考」
- 「宗教学研究」第二四二号
 「宗学研究」第二二号
 「駒澤大学仏教学部研究紀要」第三八号
 「講座敦煌第八卷 敦煌仏典と禪」（大東出版社）所収
 「駒澤大学仏教学部論集」第一一号
 「駒澤大学仏教学部論集」第一一号
 「現代思想臨時増刊 総特集Ⅱ 禪」（青土社）所収
- 「駒澤大学宗教学論集」第一〇輯
 「曹洞宗報」
 「宗教学研究」第二四六号
 「宗学研究」第二三三号
 「印度学仏教学研究」第二九卷第二号
 「古田紹欽博士古稀記念論文集 仏教の歴史的發展に見る諸形態」（創文社）所収
 「禪の源流―中国仏教史蹟をたずねて―」（別冊「跳龍」）（大本山総持寺出版部）所収
 「禅学研究」第六〇号
 「懷契禪師研究」（祖山傘松会）所収
 「中国仏蹟見聞記」第二集

- 一〇月 「惠昕本『六祖壇經』の研究―定本の試作と敦煌本との対照(続)―」
 『駒澤大学仏教学部論集』第一二号
- 一九八二年 三月 「孝宗(南宋)と禅宗―道元の南宋禅林観と関連して―」
 『宗学研究』第二四号
 三月 「圭峰宗密の肉骨髓得法説の成立背景について」
 『印度学仏教学研究』第三〇巻第二号
 三月 「大慧普覚禅師年譜の研究(下)」
 『駒澤大学仏教学部研究紀要』第四〇号
 一〇月 「中国の五山十刹制度の基礎的研究(一)」
 『駒澤大学仏教学部論集』第一三号
 一二月 「虎丘紹隆と大慧宗杲」
 『仏教史学研究』第二五巻第一号
 一二月 「中国の五山十刹制度について―大乘寺所藏寺伝五山十刹図を中心として―」
 『印度学仏教学研究』第三一巻第一号
- 一九八三年四月～一九八六年七月 「〔三百則でつづる〕中国禅宗史話(一)～(四〇)」
 『傘松』第四七五～五一四号(祖山傘松会)
 六月 「大慧禅における禅と念仏の問題」
 藤吉慈海編『禅と念仏―その現代的意義―』
 (大蔵出版) 所収
- 一〇月 「中国の五山十刹制度の基礎的研究(二)」
 『駒澤大学仏教学部論集』第一四号
 一〇月 「〔在外研究報告〕内地留学報告」
 『駒澤大学仏教学部論集』第一四号
 一〇月 「〔書評〕鏡島元隆著『天童如浄禅師の研究』」
 『駒澤大学仏教学部論集』第一四号
 一二月 「中国禅宗史―曹洞宗」
 秋月龍珉編『禅の心・歴史(禅ブックス・第一巻)』(平川出版社) 所収
- 一九八四年 一二月 「中国初期曹洞禅の二・三の問題」
 『印度学仏教学研究』第三二巻第一号
 三月 「史弥遠と禅宗―如浄の五山入院の背景を中心として―」
 『宗学研究』第二六号
 三月 「十一種宋代禅門隨筆集人名索引(上)」
 『駒澤大学仏教学部研究紀要』第四二号
 三月 「禅の時機観―宏智・大慧・道元の禅の比較を中心として―」
 『日本仏教学会年報』第四九号

一九八四年

三月

「中国初期曹洞禅の二・三の問題」

『印度学仏教学研究』第三二巻第一号

三月

「史弥遠と禅宗―如浄の五山入院の背景を中心として―」

『宗学研究』第二六号

三月

「十一種宋代禅門隨筆集人名索引(上)」

『駒澤大学仏教学部研究紀要』第四二号

「禅の時機観―宏智・大慧・道元の禅の比較を中心として―」

『日本仏教学会年報』第四九号

- 四月 「景德伝燈録序をめぐる諸問題」
- 六月 「『義雲和尚語録』の引用典籍について―延文二年本と真字『正法眼蔵』との関係を中心として―」
 「義雲禪師研究」（祖山傘松会）所収
- 八月 「大瀉山の中興について―曹洞宗との接点を考慮して―」
 「中国仏蹟見聞記」第五集
- 一〇月 「中国の五山十刹制度の基礎的研究（三）」
 「駒澤大学仏教学部論集」第一五号
- 一〇八五年一月～六月 「中国仏跡参観の記（一）～（六）」
 「曹洞宗報」
- 三月 「『宗門統要集』と真字『正法眼蔵』―真字『正法眼蔵』の出典の全面的補正―」
 「宗学研究」第二七号
- 三月 「十一種宋代禪門隨筆集人名索引（下）」
 「駒澤大学仏教学部研究紀要」第四三号
- 一〇月 「宏智正覚と天童如浄」
 「宋代の社会と宗教」（汲古書院）所収
- 一〇月 「中国の五山十刹制度の基礎的研究（四）」
 「駒澤大学仏教学部論集」第一六号
- 一〇月 「〔書評〕吉津宜英著『華嚴禪の思想史的研究』」
 「駒澤大学仏教学部論集」第一六号
- 一二月 「『泉州開元寺志』の招慶省僊の伝について」
 「印度学仏教学研究」第三四卷第一号
- 一九八六年 三月 「曹山本寂の五位説の創唱をめぐる」
 「宗学研究」第二八号
- 三月 「泉州福先招慶院の浄修禪師省僊と『祖堂集』」
 「駒澤大学仏教学部研究紀要」第四四号
- 八月 「道元禪師の大梅山の靈夢の意味するもの―宝慶元年の北帰行―」
 「中国仏蹟見聞記」第七集
- 一〇月 「『伝光録』の本則の出典とその性格―身心脱落の話と関連して―」
 「駒澤大学仏教学部論集」第一七号
- 一〇月 「〔書評〕鈴木哲雄著『唐五代禪宗史』」
 「駒澤大学仏教学部論集」第一七号
- 一九八七年 二月 「『年報』の成立の頃を振り返って」
 「駒澤大学大学院仏教学研究会年報」第二〇号
- 三月 「中国禪と道元禪」
 「宗教研究」第二七一号

三月 「瀧仰宗と曹洞宗」
三月 「中国・日本曹洞宗の成立とその性格」

『宗学研究』第二九号
『仏教文化の諸相―桜井秀雄博士古稀記念論文集』(桜井秀雄博士古稀記念論文集刊行会)

六月二四・二六・二九日、七月一・三日号

「真字『正法眼蔵』の謎を追う(一)〜(五)」

『中外日報』

七月 「宏智正覚の研究のこぼれ話」

『禅文化』第一二五号

八月 「五祖法演の研究の覚え書き」

『中国仏蹟見聞記』第八集

一〇月 「瀧仰宗の盛衰(一)」

『駒澤大学仏教学部論集』第一八号

一九八八年

三月 「仰山慧寂と『六祖壇経』」

『印度学仏教学研究』第三六卷第二号

三月 「曹溪大師伝」考

『駒澤大学仏教学部研究紀要』第四六号

三月 「宇井伯寿著『禅宗史研究』の「緒言」をめぐって」

『宗学研究』第三〇号

六月 「禅」

岩波講座『東洋の思想』第一二巻
東アジアの仏教(岩波書店)所収

一〇月 「瀧仰宗の盛衰(二)」

『駒澤大学仏教学部論集』第一九号

一二月 「南陽慧忠の南方宗旨の批判について」

『鎌田茂雄博士還暦記念論集 中国の仏教と文化』(大蔵出版)所収

一二月 「禅の分類について―圭峰宗密の五種禅の見直し―」

『禅文化研究所紀要』第一五号(入矢義高教授喜寿記念論集)

一九八九年

二月 「禅宗の開祖と高僧」

鎌田茂雄監修『中国』第二巻(毎日コミュニケーションズ)「聖山名刹」所収

三月 「『本証妙修』説をめぐって―袴谷説への質問―」

『宗学研究』第三一号

三月 「秋月龍珉氏の『本証妙修』説への批判」

『駒澤大学仏教学部研究紀要』第四七号

四月二五・二六・二七日、五月一・二日号

「北京大学の日中禅学研究討論会に参加して」

五月 「中国禅と『随聞記』」

『中外日報』

池田魯參編『正法眼藏随聞記の研究』（溪

水社）所収

一〇月 「瀧仰宗の盛衰（三）」

『駒澤大学仏教学部論集』第二〇巻

一〇月 「中国唐宋代の禅宗史の研究状況と問題点」

『駒澤大学仏教学部論集』第二〇巻

一二月 「道元の『六祖壇経』批判について

金知見編『六祖壇経の世界』第九回国際
仏教学術会議紀要』（民族社）所収

一九九〇年 一月

「道元参究―現代における道元学の系譜―」

『仏教』第一〇号（法蔵館）所収

三月 「袁州楊岐山をめぐる南宗禅の動向」

『印度学仏教学研究』第三八巻第二号

六・八・九月 「道元の「見性」批判（一）（三）―最新の道元研究について―」

『春秋』三二〇～三二二号

一〇月 「瀧仰宗の盛衰（四）」

『駒澤大学仏教学部論集』第二一号

一九九一年 二月 「頓悟漸修と本証妙修―道元の禅宗批判と関連して―」

『駒澤大学大学院仏教学研究会年報』第
二四号

三月 「道元の靈性批判―鈴木大拙の靈性と関連して―」

『宗教研究』二八七号

三月 「道元の靈性批判―鈴木大拙の靈性と関連して―」

『駒澤大学禅研究所年報』第二号

七月 「大悲に思う」

『在家仏教（特集・大悲あまねく）』

七月 「『義雲和尚語録』」

『曹洞宗教義法話大系（7）日本曹洞宗の祖
師―伝記・語録―』（同朋舎）所収

一〇月 「瀧仰宗の盛衰（五）」

『駒澤大学仏教学部論集』第二二号

一一月 「最後の道元―十二巻本『正法眼藏』と『宝慶記』―」

鏡島元隆・鈴木格禅編『十二巻本『正法

一月 「新出の福州大安の「真身記」をめぐって」

眼蔵」の諸問題」(春秋社) 所収
『顯菴印幻蔡澤溍博士華甲記念仏教学論叢』
(東国大学校仏教文化研究院) 所収

一二月 「瀉山教団の動向について―福州大安の「真身記」の紹介に因んで―」

一九九二年 二月

「回向を念う」

『印度学仏教学研究』第四〇巻第一号
『在家仏教(特集・念ずるところ)』

三月

「訳注『裴休拾遺問』(上)」

『駒澤大学禅研究所年報』第三号

五月

「〈討論〉修行と悟り・身心脱落とはなにか」

奈良康明監修『ブツダから道元へ―仏教
討論集―』(東京書籍) 所収

一二月

「百丈教団と瀉山教団」

『印度学仏教学研究』第四一卷第一号

一九九三年 二月

「道元禅師の靈性批判」

『師家養成所講義録』(曹洞宗宗務庁) 所収

二月

「最後の道元」

『師家養成所講義録』(曹洞宗宗務庁) 所収

三月

「訳注『大慧普覚禅師法語(続)』(上)」

『駒澤大学禅研究所年報』第四号

五月

「巻頭言」

『駒澤大学大学院仏教学研究会年報』第二六号

七月

「許多手眼の観音」

『人生と宗教―西村恵信教授還暦記念文集』
(禅文化研究所) 所収

七月

「中国禅と道元禅」

『道元思想のあゆみI鎌倉時代』(吉川弘
文館) 所収

一〇月

「瀉仰宗の盛衰(六)」

『駒澤大学仏教学部論集』第二四号

一〇月七・八・一二・一四・一五日、一二月一三日号

「五家七宗の旅―第十三次駒澤大学中国仏教史蹟參觀団を終えて(一)〜(六)」

『中外日報』

- 一二月 「正法寺文書よりみた日本達磨宗の性格―特に『興禪護国論』の日本達磨宗批判と関連して―」
「仏教学」第三五号
- 一二月 「百丈教団と瀋山教団（統）」
「印度学仏教学研究」第四二卷第一号
- 一二月 「南宗禪の頓悟思想の展開―荷沢神会から洪州宗へ―」
「白蓮仏教論集」第三号
- 一九九四年 三月 「禪源諸詮集都序」の訳注研究（一）（共著・小川隆）
「駒澤大学仏教学研究紀要」第五二号
- 三月 「訳注『大慧普覚禪師法語（統）（下）』」
「駒澤大学禅研究所年報」第五号
- 三月 「歴代法宝記」の頓悟思想」
「宗教研究」第二九九号
- 六月 「中国禪と道元禪師の教えの相違」
「永平正法眼蔵寛書大成続輯（月報）」五号
- 七月一日「書評」水野弥穂子著『十二卷本『正法眼蔵』の世界』
「仏教タイムス」
- 七月 「宋代の禪」
田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）
所収
- 一〇月 「〔書評〕松本史朗著『禅思想の批判的研究』」
「駒澤大学仏教学部論集」第二五号
- 一〇月 「〔書評〕松本史朗著『禅思想の批判的研究』」
「駒澤大学仏教学研究紀要」第五三号
- 一〇月 「〔書評〕松本史朗著『禅思想の批判的研究』」
「駒澤大学禅研究所年報」第六号
- 一九九五年 三月 「『禅源諸詮集都序』の訳注研究（二）」（共著・小川隆）
「大法輪（特集 さとりとは何か）」第六二
卷第四号所収
- 三月 「百丈清規の研究―「禅門規式」と『百丈古清規』―」
「道元思想大系第七卷（思想篇第一卷（道
元禪の成立））」（同朋舎出版）所収
- 四月 「中国禪のさとり」
「道元思想大系第一四卷（思想篇第八卷（道
元と本覚思想））」（同朋舎出版）所収
- 九月 「編集・解説」
「花園大学文学部研究紀要」第二八号
- 九月 「編集・解説」
「花園大学文学部研究紀要」第二八号
- 一九九六年 三月 「〔書評〕西村恵信訳注『無門関』」

- 三月 「大英図書館所蔵の五山版『禪源諸詮集都序』について」 『印度学仏教学研究』 第四四卷第二号
- 三月 「『禪源諸詮集都序』の訳注研究(三)」(共著・小川隆) 『駒澤大学仏教学部研究紀要』 第五四号
- 三月 「『禪源諸詮集都序』の頓悟漸修説―浄染十重図』を中心として―」
- 七月 「禪の受容と日本化―曹洞宗を中心に」 『宗教研究』 第三〇七号
- 源了圓・楊曾文編『日中文化交流叢書』[四] 宗教』(大修館書店) 所収
- 一〇月 「『禪源諸詮集都序』の訳注研究(四)」(共著・小川隆) 『駒澤大学仏教学部論集』 第二七卷
- 一二月 「道元の「見性」批判(再論)」 『仏教学』 第三八号
- 一九九七年 三月 「在家仏教(特集・行)」 『松ヶ岡文庫研究年報』 第一一号
- 三月 「『永平略録』考―十二巻本『正法眼蔵』と関連して―」 『駒澤大学仏教学部研究紀要』 第五五号
- 三月 「『禪源諸詮集都序』の訳注研究(五)」(共著・小川隆) 『駒澤大学禅研究所年報』 第八号
- 三月 「『坐禅箴』考」 シリーズ・東アジア仏教第三卷／高崎直道・木村清孝編『新仏教の興隆2 東アジアの仏教思想Ⅱ』(春秋社) 所収
- 五月 「禅系の仏教」 『九州曹洞宗青年会第七期執行部編』 『文明のクロスロード九州』 仏教の源流をたずねて』 所収
- 六月 「道元禅師の意味する非仏教的なもの」 『駒澤大学仏教学部論集』 第二八卷
- 一〇月 「『禪源諸詮集都序』の訳注研究(六)」(共著・小川隆) 鎌田茂雄博士古稀記念会編『華嚴学論集』(大蔵出版) 所収
- 一二月 「『宗門統要集』と『碧巖録』」 『印度学仏教学研究』 第四六卷第一号

一九九八年 三月 「大慧宗杲の看話禪と「磨博作鏡」の話」

三月 「『禪源諸詮集都序』の訳注研究（七）」（共著…小川隆）

三月 「禪宗と無心」

七月 「卷頭言」

一〇月 「宗学・禅宗史と新「宗学」（一）（二）（三）」

一〇月 「『禪源諸詮集都序』の訳注研究（八）」（共著…小川隆）

一二月 「浮山法遠の人と思想」

一二月 「新豊山と洞山—胡紹仁説と関連して—」

一九九九年 三月 「『禪源諸詮集都序』の訳注研究（九）」（共著…小川隆）

五月二二日号

〔書評〕柳田聖山・椎名宏雄編『禅学典籍叢刊 第一卷』

一〇月 「『禪源諸詮集都序』の訳注研究（十）」（共著…小川隆）

一二月 「尚お忘れ難き事あり—道元の帰依と救済—」

二〇〇〇年 三月二二日号

〔書評〕松本史朗著『道元思想論』

三月 「『深信因果』『三時業』考」

五月 「〔書評〕鏡島元隆訳註『原文対照現代語訳 道元禅師全集卷十〜十三 永平広録1〜4』の刊行に寄せて」

「春秋」第四一八号

五月 「禅宗における善と悪—大慧と道元を中心として—」

七月 「韓国仏教通史の主な研究」

七月 「朝鮮禅思想に対する研究」

『駒澤大学禅研究所年報』第九号

『駒澤大学仏教学部研究紀要』第五六号

『在家仏教（特集・無心）』

『駒澤大学大学院仏教学研究会年報』第三二卷

『宗学と現代』第二号

『駒澤大学仏教学部論集』第二九号

『禅文化研究所紀要』第二四号（柳田聖山教授喜寿記念論集）

『印度学仏教学研究』第四七卷第一号

『駒澤大学仏教学部研究紀要』第五七号

『中外日報』

『駒澤大学仏教学部論集』第三〇号

『印度学仏教学研究』第四八卷第一号

『中外日報』

『駒澤大学仏教学部研究紀要』第五八号

『春秋』第四一八号

『日本仏教学会年報』第六五号

『韓国仏教学 SEMINAR』第八号

『韓国仏教学 SEMINAR』第八号

一〇月 「禅宗の成立と展開」

『大法輪』第六七卷第一〇号「特集・〈禅〉のすべて―歴史とその心―」

一〇月 「『大梵天王問仏疑経』をめぐって」

『駒澤大学仏教学部論集』第三一号

一〇月 「拈華微笑の話の成立をめぐって」

『平井俊榮博士古稀記念論集 三論教学と仏教諸思想』（春秋社）所収

二〇〇一年 三月

「十二卷本『正法眼蔵』における「四馬」の位置づけをめぐって」

『宗教研究』第三二七号

四月 「『四馬』考」

『駒澤大学仏教学部研究紀要』第五九号

六月 「中国禅僧伝から6話」

『大法輪』第六八卷第六号「特集・心にのこる仏教名話―仏教の逸話に学ぶ（生きる智慧）―」所収

九月 「『無門関』の成立・伝播・性格をめぐって」

『愛知学院人間文化研究所紀要 人間文化』第一六号

一〇月 「『四禅比丘』考」

『駒澤大学仏教学部論集』第三二二号

一二月 「『正法眼蔵』

日本仏教研究会編『日本の仏教文献ガイド』（法蔵館）所収

一二月 「『一百八法明門』をめぐって」

『印度学仏教学研究』第五〇巻第一号

二〇〇二年 一月～二〇〇五年 六月

「『正法眼蔵行持』に学ぶ（一）～（四十二）」

『傘松』第七〇〇～七四一号

三月 「日本達磨宗の性格」

『松ヶ岡文庫研究年報』第一六号

三月 「道元禅の日本的展開をめぐって」

『宗学研究』第四四号

三月 「大慧禅と『大慧武庫』」

『宗教研究』第三三二号

三月 「『供養諸仏』考」
八月 「仏仏祖祖の嗣法の話の成立過程―道元禪師の引用例と関連して―」

一〇月 「『帰依仏法僧宝』考」
十一月 「南宋禪をどうとらえるか」

二〇〇三年 三月 「宝公・才公禪師塔銘の紹介」

三月 「道元の全機と道環」

三月 「宋代禪宗史の特色―宋代の燈史の系譜を手がかりとして―」

三月 「『一百八法明門』考」

二〇〇四年 三月 「『仏道』『仏経』考(上)」

三月 「『禪源諸詮集都序』の仏伝・仏身観」

一〇月 「読後の耳聾」

二〇〇五年 一月 「道元の面授について―薦福承古の批判を中心に―」

三月 「『仏道』『仏経』考(下)」

三月 「道元の坐禪と瞑想―坐禪は習禪にあらざ―を手がかりとして―」

三月 「宋代の禪」

『駒澤大学仏教学部研究紀要』第六〇号

『道元禪師研究論集』(大本山永平寺)所収

『駒澤大学仏教学部論集』第三三三号

鈴木哲雄編『宋代禪宗の社会的影響』(山

喜房仏書林)所収

『田中良昭博士古稀記念論集 禅学研究の

諸相』(大東出版社)所収

『松ヶ岡文庫研究年報』第一七号

『東洋文化』第八三号(特集・中国の禪)

『駒澤大学仏教学部研究紀要』第六一号

『松ヶ岡文庫研究年報』第一八号

『印度学仏教学研究』第五二卷第二号

柳田聖山著『唐代の禪宗』(大東出版社)所収

『竹貫元勝博士還暦記念論文集 禅とその

周辺学の研究』(永田文昌堂)所収

『松ヶ岡文庫研究年報』第一九号

『印度学仏教学研究』第五三卷第二号

国際宗教学宗史会議(TOKYO)「パネル

禅宗史再考」(石井修道・前川亨・小川隆)

分担

- 六月 「大洪守遂の『仏祖三経註』の成立をめぐる」
『アジア文化の思想と儀礼・福井文雅博士古稀記念論集』（春秋社）所収
- 一二月 「代付における禅の真理―『伝光録』投子義青章をてがかりとして」
『東隆眞博士古稀記念論集 禅の真理と実践』（春秋社）所収
- 一二月 「松源崇岳の人と思想」
『印度学仏教学研究』第五四卷第一号
- 二〇〇六年 二月 「中国禅と道元禅」
『二〇〇四（平成十六年度）布教師養成所講義録』（曹洞宗宗務庁）所収
- 六月 「鈴木大拙の禅思想史における盤珪禅」
『追想 鈴木大拙―没後四十年記念寄稿集』（松ヶ岡文庫）所収
- 一〇月 「『礼拝得髓』考」
『駒澤大学仏教学部論集』第三七号
- 一二月 「松源崇岳の宗風―松源の二転語と坐禅―」
『印度学仏教学研究』第五五号第一号
- 二〇〇七年 一月 「久禱聖山」
『禅文化』第二〇三号
- 一月 「紙屋院騰々聖山居士を悼む」
『東方学』第一一三輯
- 三月 「『永平元禪師清規』「対大己五夏闍梨法」の出典研究」（監修）
『宗学研究紀要』第二一〇号
- 五月 「『年報』第二号の発行のころ」
『駒澤大学大学院仏教学研究会年報』第四〇号
- 二〇〇八年 三月 「『正法眼蔵行持』と時間について」
『愛知学院大学禅研究所紀要』第三六号
- 三月 「『永平元禪師清規』「衆寮清規」の出典研究」（監修）
『宗学研究紀要』第二一一号
- 一〇月 「鈴木大拙の手紙」
『大法輪』第七五卷第一〇号（特集 高僧・名僧の手紙―手紙から生き方を学ぶ、仏教者の手紙）所収

- 一〇月 「『仏祖』『嗣書』『面授』考」
 「『真福寺所蔵の『入衆日用』について」
- 十一月 「『仏教』考」
 「多田孝正博士古稀記念論集 仏教と文化」
 (山喜房仏書林) 所収
- 二〇〇九年 三月 「『説心説性』『自性三昧』考」
 「駒澤大学仏教学部論集」第三九号
 三月 「『永平元禪師清規』『赴粥飯法』の出典研究」(監修)
 「駒澤大学仏教学部研究紀要」第六七号
 一二月 「真字『正法眼蔵』の諸問題」
 「宗学研究紀要」第二二号
 「駒澤大学禪研究所年報」第二二号
 二〇一〇年 三月 「『正法眼蔵僭評』について―道元の大慧宗杲批判を中心に―」
 「駒澤大学禪研究所年報」第二二号
 「印度学仏教学研究」第五八巻第二号
 「松ヶ岡文庫研究年報」第二四号
 「駒澤大学仏教学部研究紀要」第六八号
- 三月 「『新編仏法大明録』について」
 「印度学仏教学研究」第五八巻第二号
- 三月 「徹通義介の「身心脱落の話」について」
 「駒澤大学仏教学部研究紀要」第六八号
- 三月～二〇一二年三月 「『永平元禪師清規』『知事清規』の出典研究(上)(中)(下)」(監修)
 「宗学研究紀要」第二三～二五号
- 二〇一一年 四月 「『書評』高崎直道著作集第九巻『道元思想と日本仏教』を読む」
 「宗学研究紀要」第二三～二五号
- 八月 「智顛・日蓮と禅」
 「春秋」第五二七号
- 一〇月 「道元の霊夢の中での大梅法常との出会いと修証観」
 「日本仏教学会年報」第七六号
- 二〇一二年 三月 「中国初期禪宗の無修無作説と道元の本証妙修説」
 「駒澤大学仏教学部論集」第四二号
- 一二月 「道元の「密受心印よりこのかた」について」
 「東洋の思想と宗教」第二九号
- 二〇一三年 三月 「道元の密受心印について」
 「駒澤大学禪研究所年報」第二四号
- 一二月 「青原行思・石頭希遷の資料の問題点」
 「宗教研究」第三七五号
- 一二月 「真福寺所蔵の『入衆日用』について」
 「印度学仏教学研究」第六二巻第一号
 「駒澤大学禪研究所年報」第二五号

共著・編著

- 一九七四年 三月 「共同翻刻・解題」『金沢文庫資料全書 仏典第一卷 禅籍篇』 神奈川県立金沢文庫
- 一九七八年 三月 「共著」駒澤大学禅宗史研究会編『慧能研究―慧能の伝記と資料に関する基礎的研究―』 大修館書店
- 一九七九年 一月 「共同執筆」『仏教史年表』 法蔵館
- 一九八一年 九月 「共同執筆」鎌田茂雄編『中国仏教史辞典』 東京堂出版
- 一九八二年 三月 「共同執筆」『図説日本仏教の原像…インド・中国・朝鮮』 法蔵館
- 一九九三年 六月 「共著」『フォトグラフ中国曹洞禅―祖師の古蹟をたすねて』 曹洞宗宗務庁
- 二〇〇八年 六月 「共編・田上太秀」『禅の思想辞典』 東京書籍
- 二〇一四年 四月 「編集責任」『禅宗清規集 中世禅籍叢刊第六卷』 臨川書店

外国語論文

- 一九九〇年 三月 RECENT TRENDS IN DŌGEN STUDIES (Translated from the Japanese by Albert Welter) 『駒澤大学禅研究所年報』 第一号
- 一九九六年 三月 THE ZONGMEN TONGYAO JI AND THE DISTINCTIVE CHARACTER OF SONG CHAN BUDDHISM (Translated from the Japanese by Albert Welter) (『宗門統要集』よりみた宋代禅の特色) 『駒澤大学禅研究所年報』 第七号
- 二〇〇〇年 Kung-an Ch'an and the *Tsung-men tung-yao chi* (Translated from the Japanese by Albert Welter) *The Kōan: texts and contexts in Zen Buddhism*, edited by Steven Heine / Dale S. Wright, Oxford University Press.

二〇〇二年 二月

「荷沢神会以降敦煌禅宗史文献之性質」

『戒幢仏学』第二卷

二〇〇四年

The *Wu-men kuan* (J. Mumonkan): The formation, Propagation, and Characteristics of a Classic Zen Koan Text
(Translated from the Japanese by Albert Welter)

The Zen Canon: Understanding The Classic,
edited by Steven Heine/Dale S. Wright, Oxford
University Press.

三月

「宋代禪宗史的特色——以宋代灯史的系譜為線索」(程正訳)

『中国禅学』第三卷(中華書局)

二〇〇六年 六月

「石頭系禅法——無垢却須浴——」(潘橋訳)

『二〇〇六年仏学研究論文集——禅宗与人間
仏教』(仏光山文教基金会)所収

九月

「道元禅為什麼没有在中国產生」(王頌訳)

『中国禅学』第四卷

二〇一二年

Dōgen Zen and Song Dynasty China (Translated from the Japanese by Albert Welter)

DŌGEN-TEXTUAL AND HISTORICAL
STUDIES, edited by Steven Heine, Oxford
University Press.

二〇一三年 四月

「有関石頭系的禅」(程正訳、「石頭系の禅について」)

『仏光大学仏教研究中心開幕研讨会——漢伝
仏教研究的過去・現在・未来』(仏光大学)所収

再録

一九九四年 五月

「南宗禅の頓悟思想の展開——荷沢神会から洪州宗へ——」

『禅文化研究所紀要』第二〇号

一二月

「道元禅師の大梅山の霊夢の意味するもの——宝慶元年の北帰行——」

『道元思想大系第二卷(伝記篇第二卷(道
元の生涯2))』(同朋舎出版)所収

一九九五年 四月

「最後の道元——十二卷本『正法眼蔵』と『宝慶記』——」

『道元思想大系第一卷(思想篇第五卷(十
二卷本『正法眼蔵』と道元禅))』(同朋舎

四月 『宗門統要集』と真字 『正法眼藏』——真字 『正法眼藏』の出版) 所収
『道元思想大系第一五卷(思想篇第九卷(道元と經典・祖録))』 所収 同朋舎出版

四月 『宏智録』と道元禪
『道元思想大系第一五卷(思想篇第九卷(道元と經典・祖録))』(同朋舎出版) 所収

九月 『頓悟漸修と本証妙修——道元の禪宗批判と関連して——』
『道元思想大系第一四卷(思想篇第八卷(道元と本覚思想))』(同朋舎出版) 所収

九月 『道元参究——現代における道元学の系譜——』
『道元思想大系第二一卷(思想篇第一五卷(道元思想の現代的課題))』(同朋舎出版) 所収

九月 『真字 『正法眼藏』の歴史的性格』
『道元思想大系第五卷(伝記篇第五卷(道元の著述・編集1))』(同朋舎出版) 所収

九月 『宋代禪宗史より見たる道元禪の位置』
『道元思想大系第七卷(思想篇第一卷(道元禪の成立))』(同朋舎出版) 所収

九月 『道元の『六祖壇経』批判』
『道元思想大系第七卷(思想篇第一卷(道元禪の成立))』(同朋舎出版) 所収

一九九七年 一月 『中国禪のさとり』
大法輪閣編集部『さとりとは何か』(大法輪閣) 所収

九月 『仏照徳光と日本達磨宗』
叢書 禪と日本文化8)末木文美士編『禪と思想』(べりかん社) 所収

二〇〇二年 九月 『従容録(一一)〜三五則』
『曹洞宗法問事例体系』第三卷(四季社) 所収